

—70年の時を越えて—

朝鮮旅行・インタビュー

大正時代に始まった修学旅行の中でも、ひときわ目をひいたのは、昭和14、15年に行われた12泊13日に及ぶ朝鮮半島にまで足を伸ばした旅行でした。

このたび、昭和14年の1回目の旅行に参加された高女40回生・稲葉良子さん(87歳・写真左)、小畑勢津さん(88歳・写真右)のお二人から、お話を伺いました。



『今生の別れ…』

- 司会** 本日はありがとうございます。よろしくお祈り致します。
- 稲葉 小畑** もう昔のことなので、記憶も薄れてしまって、お役に立ちますかどうか。
- 司会** 修学旅行に行かれたのは高女の何年生の時でしたか？
- 小畑** 5年生の時。卒業する前の年の春ですね。
- 稲葉** そう、17歳と、早生まれは16歳でした。
- 司会** 学校の行事としても、かなり遠くに行くわけですから親御さんは反対されませんでしたか？
- 稲葉** 行かない方のほうが多かったですね。
- 小畑** 私は、両親とも行け行けと言って出してくれました。出発が夕方だったので、母が心配をして東京駅まで送って来てくれましたが、今生の別れになるかもしれないと言っておりました。

『いざ、朝鮮へ — 関釜連絡船に乗って—』

- 司会** まずどちらへ行かれたのですか？
- 稲葉** 安芸の宮島に行って、それから下関に行きました。
- 小畑** 下関から夜行の関釜連絡船に乗って、朝、釜山に着きました。
- 稲葉** 船底に皆で寝そべっていたのですが、波が高くてかなり揺れました。ほとんどの人が船酔いしましたが、私は酔わなかったの、食堂でお食事をしたり、海を眺めていました。
- 司会** 昭和15年に行かれた方達のスケジュールを見ると、釜山から慶州に行かれているのですが、14年の時は釜山から京城(ソウル)に行かれたわけですね。
- 小畑** そうです。私達の時は1回目だったので試験的な意味もあって、平壤(ピョンヤン)までは行きませんでした。京城で2泊、それから慶州に行って1泊、海雲台でも1泊したと思います。慶州ではお寺を回りましたが、仏国寺の多宝塔がとても印象に残っていますね。

『朝鮮に山は無かった…』

- 司会** 実際に朝鮮に行かれて、どのような感想をお持ちになりましたか？
- 稲葉** とにかく土地が平坦で、行けども行けども山も何もない。木がぼつりぼつりと立っているのを眺めながら、皆でワイワイ騒いでいましたね。若かったですからね。
- 小畑** 京城では、京城に住んでいる高女の先輩方がお世話をして下さいました。ホテルでお食事をご馳走して下さいましたが、あれは美味しかったですね。
- 司会** 朝鮮での食事は和食を食べられたのですか？
- 稲葉** そうです。和食だったのですが、にんにくの臭いがして私は食べられませんでした。
- 司会** 宿泊も日本旅館でしたか？
- 小畑** そうです。畳の普通のお部屋です。
- 稲葉** 大部屋でずらっと並んで雑魚寝です。修学旅行の定番よね。楽しかったですね。
- 司会** お土産などは買われたのですか？
- 稲葉** ええ、何を買ったかは忘れましたが、京城に三越があったので。そう言えば、三越に行った時、食堂で先生がお一人食事をされていたので、私達も、先生が召し上がっているならと、食事をしたのよ。私

達いたずら組で。

- 小畑** まあ、そんなことがあったの？
- 稲葉** 勝手なことをしたと後で叱られたけど。先生も叱られていました。(笑い)
- 司会** 京城や慶州での市内の移動は何でしたか？
- 稲葉** 観光用の普通のバスです。
- 司会** 遠距離は汽車ですよね？
- 小畑** 当時は蒸気機関車です。夜行でも寝台車には乗りませんでした。
- 稲葉** トンネルに入ると窓を閉めないで煙で真っ黒になっちゃう。
- 司会** 修学旅行の費用はいくら位だったのでしょうか？
- 稲葉** さあ、いくらだったか？ 1年生の時から積み立てをしていましたが、それに上乘せしたと思います。
- 小畑** それまでの修学旅行の倍以上はかかったと思いますが、いくらかかったかはわかりません。

『朝鮮旅行実現の背景は?』

- 司会** 朝鮮に行くことになったいきさつは？
- 稲葉** 当時の地理の先生が朝鮮や満州に非常に興味を持っていらして、授業の半分がそのお話でした。それで私達も憧れて、行きたい行きたいと皆で声を出したんですよ。
- 小畑** 先生方が熱心に文部省に掛け合ってくれて、許可をとってくれました。皆で「万歳」なんて喜んだのを覚えています。
- 司会** 『竹早の百年』に、当時の加藤覚亮校長が、東洋平和建設の目的達成のためには女子が発展をしなければいけない、という高邁な理想のもとに行われたと書かれていたのですが？
- 小畑** そういう背景はあったでしょうね。そういう時代でしたから。女子の知育には非常に熱心でした。

『朝鮮から関西へ、そして帰途に』

- 司会** 長い旅行でしたが、具合の悪くなった方はいらっしゃらなかったのですか？
- 稲葉** ええ、みんな元気でした。ただ、一人お茶目な人がいて、お風呂で転んでケガをしましたね。でも、全員無事に帰ってきました。
- 司会** 旅行前に体力づくりをされたとか？
- 稲葉** そうですね。あの当時はとにかくよく歩きました。剛健遠足というのがあって、府中のほうまで歩いたりしましたね。
- 司会** 留守番されていた皆さんは何をされていたのでしょうか？
- 小畑** 学校で勉強をしていたと聞きました。
- 司会** 帰りは釜山からまた関釜連絡船で帰ってこられたのですか？
- 小畑** そうです。下関から京都へ行き、京都から奈良、吉野、最後は伊勢神宮へお参りをして帰ってきました。
- 稲葉** 京都で2泊、吉野で1泊しましたが、やっぱり大部屋で雑魚寝でした。皆でわいわい騒いで楽しかったですね。もう、楽しかったことしか覚えていませんね。
- 小畑** そう、もう70年も前のことですから。とにかく楽しかったですね。
- 司会** 大変貴重なお話をお伺いすることができて、本当に有難うございました。

※この特集の地名などは、旅行当時のまま使いました。